

第 20 期

環 境 報 告 書

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

2023 年 5 月 22 日

株式会社BWM

1. 組織の概要

(1)組織の概要

事業所名 :株式会社BWM

代表者氏名 :代表取締役 齋藤 博

所在地 :【本社】宮城県仙台市青葉区大町二丁目 10 番 14 号
 【大和プラント】宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17
 【南方プラント】宮城県登米市南方町字実沢 152 番 2
 【豊里プラント】宮城県登米市豊里町笑沢 153-4

事業内容 :産業廃棄物収集運搬業、中間処理業、伐採工事請負、木質バイオマス供給事業

資本金 :6,800 万円

設立年月日 :平成 15 年 12 月 12 日

売上高 :972,851 千円(令和 5 年 3 月期)

従業員数 :33 名(本社 23 名、大和プラント 6 名、南方プラント 3 名、豊里プラント 1 名) 3 月 31 日現在

(2)産業廃棄物処理業に関する事業内容

1)許可の内容

①産業廃棄物収集運搬業

許可自治体	優良認定	許可番号	許可年月日	有効期限	産業廃棄物の種類																			備 考	
					燃え	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	金属さ	がれき	動物のふん尿	ばいじん	石綿含有産業廃棄物	産業廃棄物		水銀含有ばいじん等
宮城県	○	00413113164	令和4年10月5日	令和11年10月4日	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	◎	○		積替え保管を行う場所: 宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目3番地17
山形県	○	0609113164	平成29年7月3日	平成36年7月2日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
岩手県	○	00300113164	平成31年2月16日	平成38年2月15日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			
福島県	○	00707113164	令和元年5月1日	令和8年4月30日		○				○	○	○	○		○	○	○	○			○	○			
秋田県	○	00507113164	令和3年4月5日	令和10年4月4日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○			
青森県		00201113164	令和元年5月27日	令和6年5月26日						○	○	○	○		○	○	○	○			○	○			

◎:積替え保管を含む ○:積替え保管を除く

②産業廃棄物処分類

許可自治体	優良認定	許可番号	許可年月日	有効期限	事業の範囲 処理方法	産業廃棄物の種類	備考
宮城県	○	00423113164	令和4年9月8日	令和11年9月7日	中間処理 破砕(固定式)	木くず	施設の設置場所: 宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目3-17
					中間処理 破砕(固定式)	木くず	施設の設置場所: 宮城県登米市南方町実沢152-2
					中間処理 破砕(移動式)	木くず	
仙台市	○	05421113164	平成31年4月30日	令和8年4月29日	中間処理 破砕(移動式)	木くず(伐採木に限る。)	

許可自治体	認定優良	許可番号	許可年月日	有効期限	事業の範囲 処理方法	産業廃棄物の種類	備 考
福島県	○	00720113164	令和1年9月9日	令和8年8月3日	中間処理 破砕(移動式)	木くず	
岩手県		00320113164	令和3年12月19日	令和8年12月18日	中間処理 破砕(移動式)	木くず	
秋田県	○	00527113164	令和4年9月6日	令和11年9月5日	中間処理 破砕(移動式)	木くず	
福島市	○	12420113164	令和元年8月4日	令和8年8月3日	中間処理 破砕(移動式)	木くず	
青森県		00221113164	令和元年9月26日	令和6年9月25日	中間処理 破砕(移動式)	木くず	

2) 事業計画の概要

宮城県黒川郡大和町と登米市南方に産業廃棄物中間処理施設を設置し、伐採工事等から出される枝葉や伐根等の木くずの収集運搬及びチップ化処理を行っている。

施設でチップ化した木くずは、主に発電用燃料としてバイオマス発電所に供給している。

3) 施設等の状況

【収集運搬車両】

10tヒアブクレーン車 2 台、4tアームロール車 1 台、10t深ダンプ 2 台 合計 5 台
うち平成 22 年規制適合／排出ガス 10%低減車・平成 27 年度燃費基準達成車 1 台、
平成 21 年基準適合／排出ガス 10%低減車・平成 27 年度燃費基準達成車 3 台、
平成 28 年基準適合車・H27 年度燃費基準 5%向上達成車 1 台

【積替え保管施設】

所在地:宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17

保管面積:32.4 m²

保管上限高さ:2.2m

保管上限量:40.6 m³(廃プラスチック類…8 m³、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類…各 4 m³、廃油…0.2 m³、汚泥…0.4 m³、石綿含有産業廃棄物…8 m³)

【産業廃棄物中間処理施設】

① 大和プラント

施設の種類:木くずの破砕施設

所在地:宮城県黒川郡大和町松坂平八丁目 3 番地 17(第一仙台北部中核工業団地内)

敷地面積:4,977 m²

建 物:廃木材リサイクル A 棟 鉄骨造 1599.12 m²、B 棟 鉄骨造 914 m²、事務所棟 鉄骨造 235.44 m²

産業廃棄物処理施設設置許可:令和 2 年 10 月 12 日 許可番号 06-15-3

令和 2 年 10 月 12 日 許可番号 3-61-0

処理する産業廃棄物の種類:木くず

主要設備:二軸破砕機ビッグバス SRS650C(一次破砕機) 処理能力 229.79t/日(11 時間稼働)

モバーク・タブグラインダー1000E(二次破砕機) 処理能力 123.20t/日(11 時間稼働)

ロータリースクリーン、チップ搬送コンベアライン
木材カッター1 台、油圧ショベル 2 台、フォークリフト 1 台、ショベルローダー1 台
スタースクリーン(選別機) 1 台

② 南方プラント

施設の種類:木くずの破碎施設
所在地:宮城県登米市南方町実沢 152 番 2
敷地面積:7,444 m²
建 物:工場棟 鉄骨造 912 m² 事務所棟 44.31 m²
産業廃棄物処理施設設置許可:平成 29 年 2 月 2 日 許可番号 07-22-1
処理する産業廃棄物の種類:木くず
主要設備:二軸破碎機 HAAS(一次破碎機)
モバーク・タブグラインダー1000E(二次破碎機) 処理能力 89.6t/日(8 時間稼働)
ロータリースクリーン、チップ搬送コンベアライン
木材カッター1 台、油圧ショベル 2 台、フォークリフト 1 台、ショベルローダー1 台

③ 移動式破碎施設(2 施設)

モバーク・タブグラインダーS1000TRACK
施設の種類:移動式木くずの破碎施設
処理能力:120t/日(8 時間稼働)
許可取得自治体:宮城県、仙台市、岩手県、福島県、福島市、青森県、秋田県、山形県

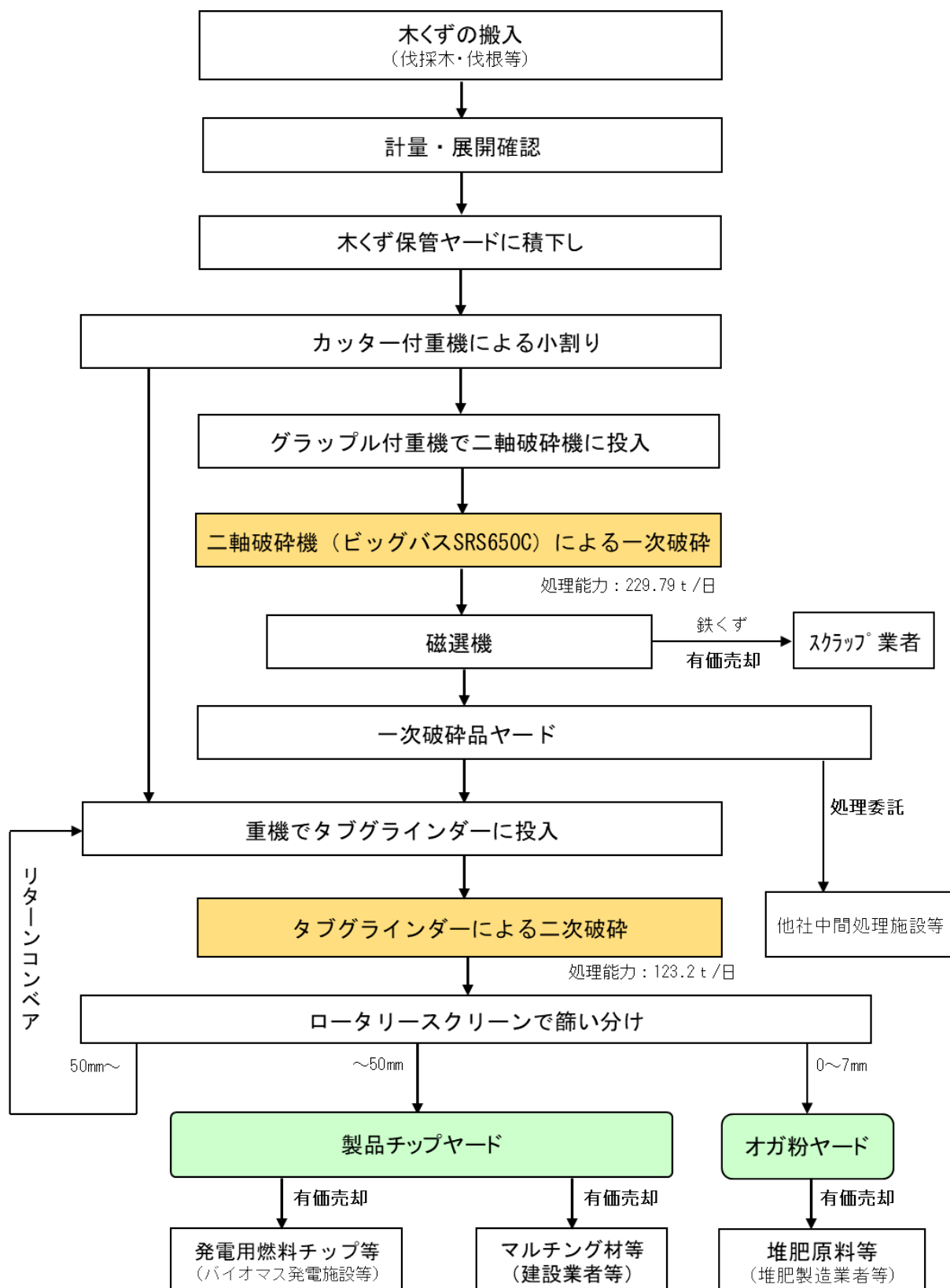
二軸破碎機ビッグバス SRS650C
施設の種類:移動式木くずの破碎施設
処理能力 226.4 t/日(8 時間稼働)
許可取得自治体:宮城県、仙台市、岩手県、福島県、福島市、青森県、山形県

【一般廃棄物の再生施設】※登録対象外施設

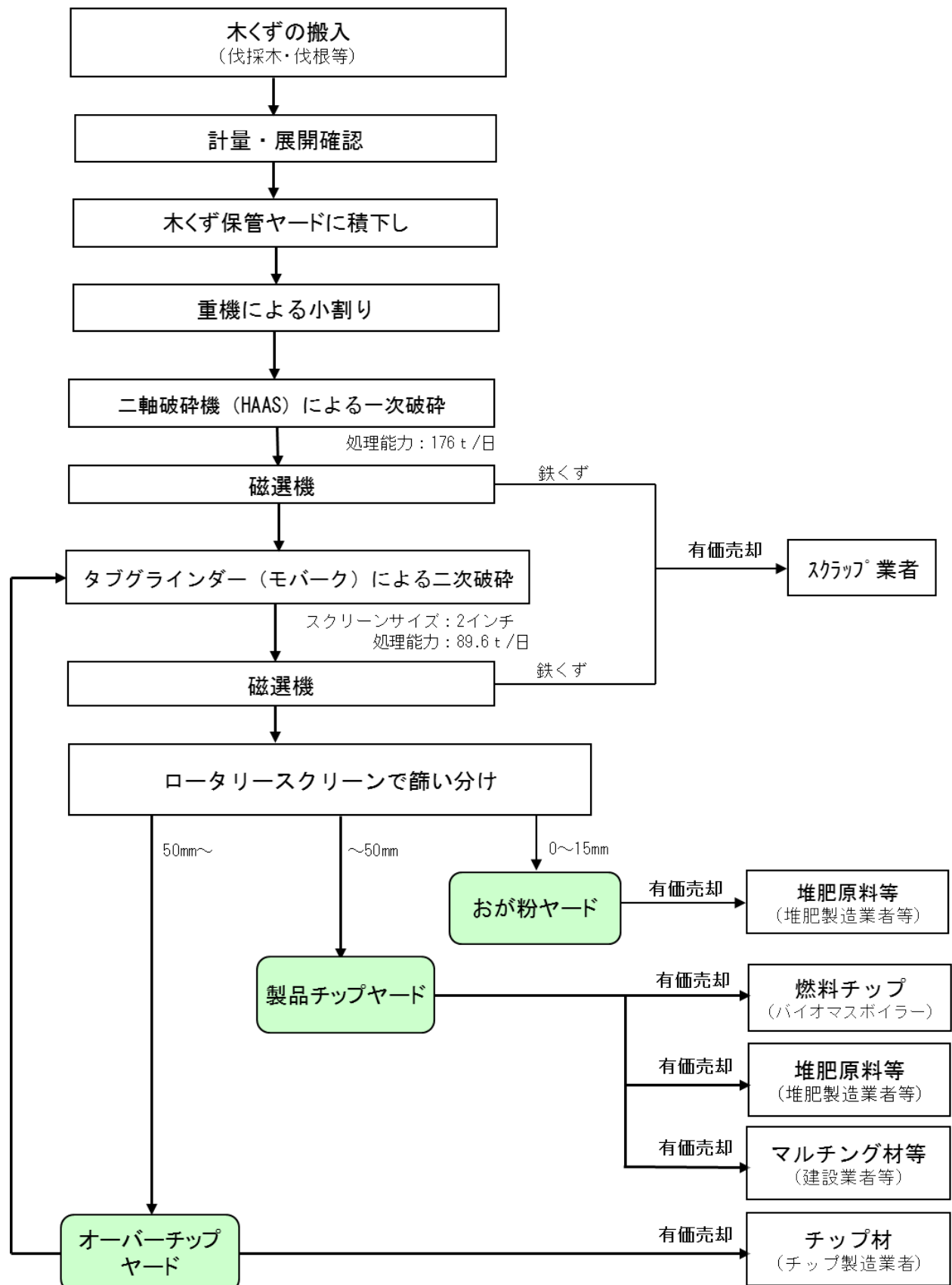
豊里プラント
施設の種類:一般廃棄物(刈草・萱・稲わら)の発酵堆肥化施設
所在地:宮城県登米市豊里町笑沢 153-4
敷地面積:13,284 m²
建 物:二次発酵ヤード棟 木造 200.00 m² 事務所棟 軽量鉄骨造 2 階建て
処理する一般廃棄物の種類:刈草・萱・稲わら
主要設備:一次発酵ヤード① 2,100 m²、一次発酵ヤード② 2,100 m²
自走式堆肥攪拌機トップターンX53、トロンメルスクリーン 1 台、
ホイールローダー1 台、フォークリフト 1 台

4) 処理工程

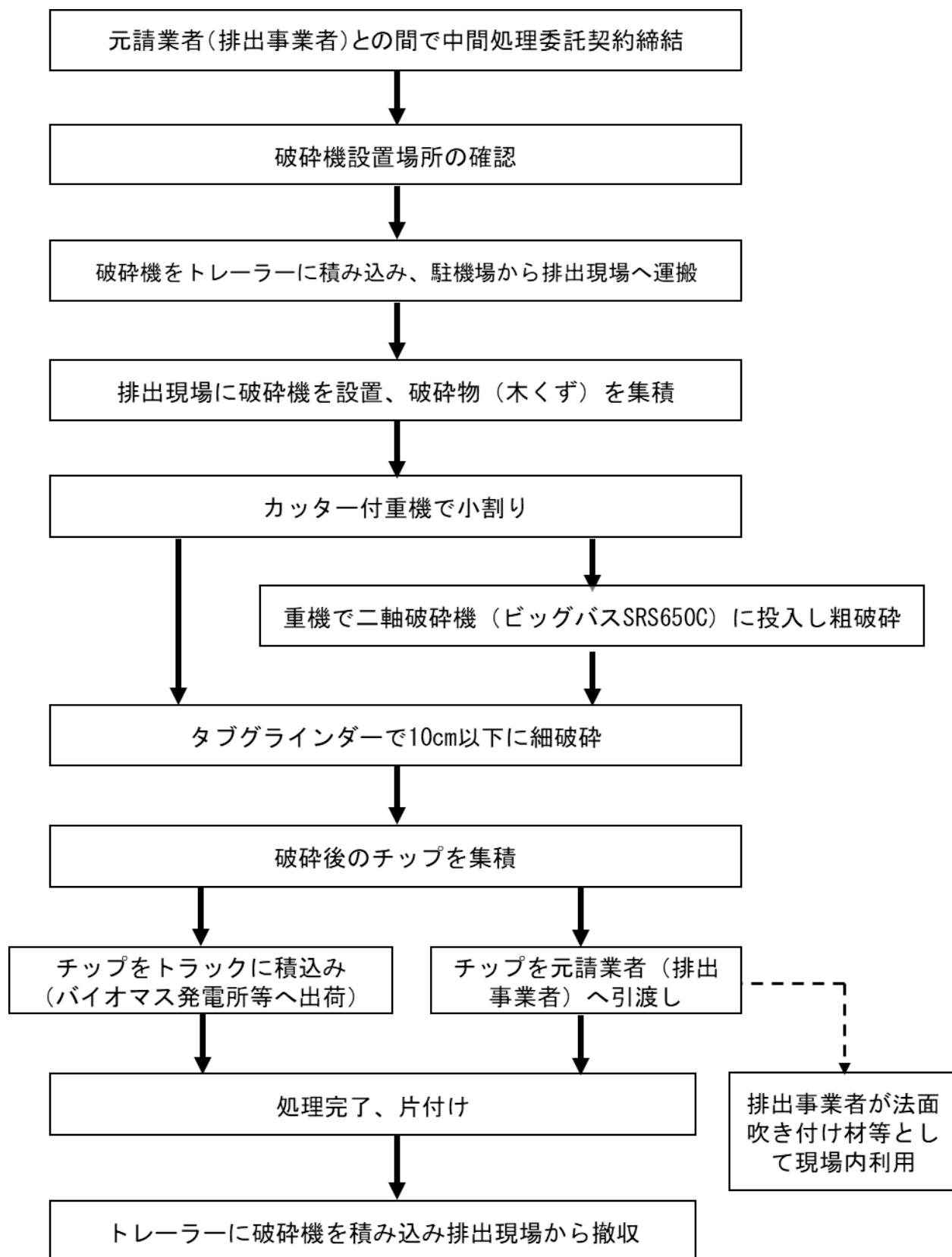
① 大和プラント



① 南方プラント



② 移動式施設



5) 処理実績

産業廃棄物収集運搬業

単位：t

産業廃棄物の種類	令和4年									令和5年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
廃プラスチック類													0
紙くず													0
木くず	389	610	578	717	1,166	1,600	1,650	1,403	1,393	629	898	661	11,694
繊維くず													0
金属くず													0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず													0
廃石膏ボード													0
がれき類													0
管理型混合													0
合計	389	610	578	717	1,166	1,600	1,650	1,403	1,393	629	898	661	11,694

産業廃棄物処分業

① 大和プラント

単位：t

産業廃棄物の種類		処分方法		令和4年								令和5年			合計	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
木くず		破砕	受入量	317	343	690	548	847	1,198	1,649	1,503	1,278	464	69	174	9,081
			処分量	317	343	690	548	847	1,198	1,649	1,503	1,278	464	69	174	9,081
処理後残さ	木くず	破砕	処分委託量	40	54	75	45	59	167	127	106	72	25	10	103	883

② 南方プラント

単位：t

産業廃棄物の種類		処分方法		令和4年								令和5年			合計	
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
木くず		破砕	受入量	82	319	234	466	607	1,291	1,138	1,195	974	615	1,080	895	8,895
			処分量	82	319	234	466	607	1,291	1,138	1,195	974	615	1,080	895	8,895
処理後残さ	木くず	破砕	処分委託量													0

2. 登録対象

(1)みちのくEMS 登録内容

認証登録年月日:2021 年 9 月 28 日(初回登録日 2009 年 9 月 28 日)

有効期限 :2023 年 9 月 27 日

認証登録番号 :09005

(2)登録範囲

登録範囲(サイト)

① 大和プラント(宮城県黒川郡大和町松坂平 8 丁目 3-17)

事業内容:産業廃棄物処分業、収集運搬業

従業員数:6 名

敷地面積:4,977 m²

② 南方プラント(宮城県登米市南方町実沢 152-2)

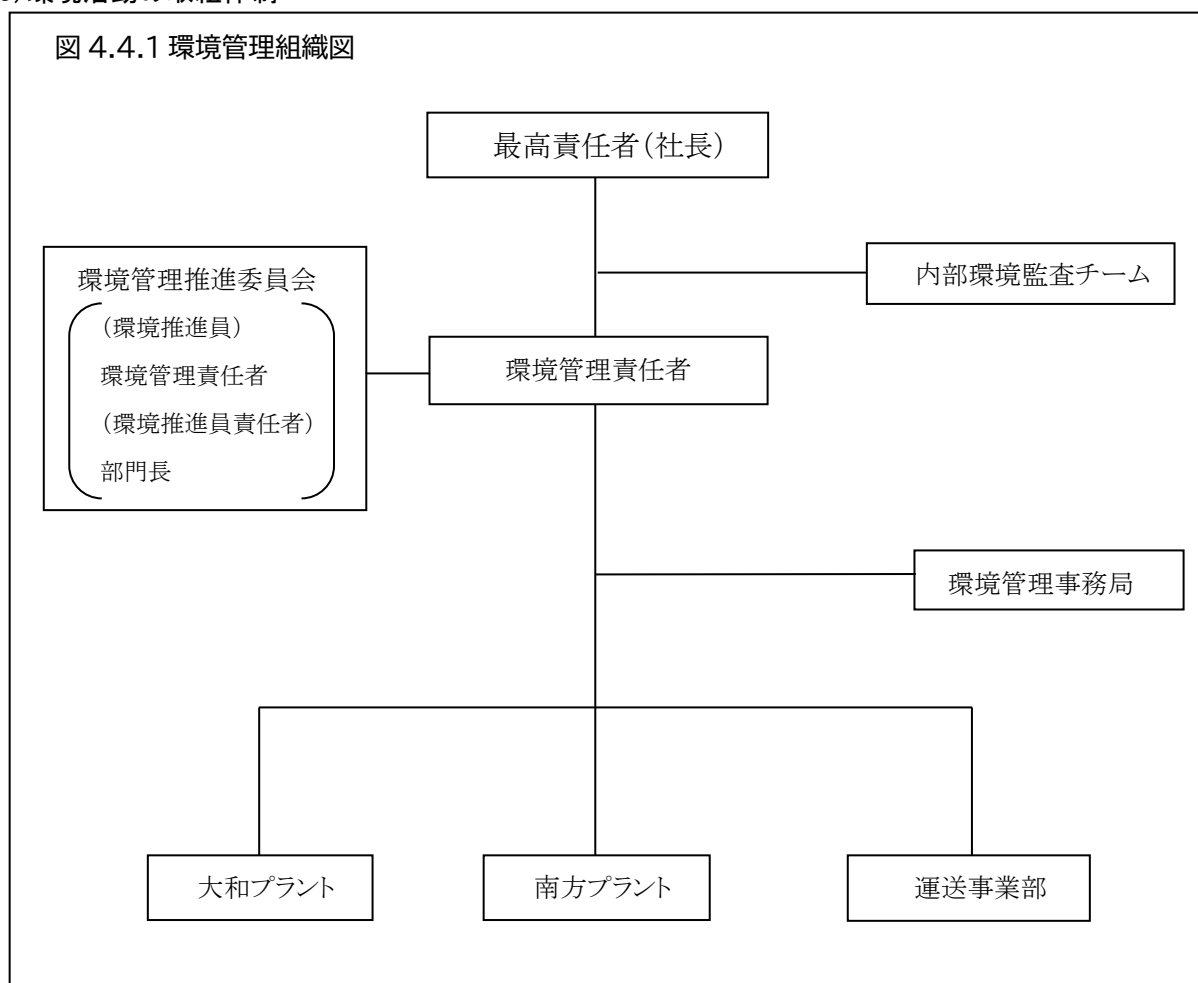
事業内容:産業廃棄物処分業、収集運搬業

従業員数:3 名

敷地面積:7,444 m²

(3)環境活動の取組体制

図 4.4.1 環境管理組織図



3. 環境方針

株式会社BWM 環境方針

基本理念

1. 私たちは、あらゆる尊い『いのち』を大切に想い、地球に優しい環境創りに挑戦します。
1. 私たちは、『未来へ伝える心』を大切に、人と自然が育み続ける社会を創造します。
1. 私たちは、『感謝の気持ち』を忘れず、夢の実現へ共に育ち成長し続けます。

環境方針

1. 事業活動にあたって、環境に関する法規制、その他の要求事項を遵守することを約束する。
2. 本環境方針に沿って環境目標を具体的に設定し、全社員は一致協力してその達成に努める。
3. 社内のあらゆる活動において発生する環境に及ぼす影響を常に認識し、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和、汚染の予防、その他の環境保護活動に取り組むことを約束する。
4. 環境パフォーマンスを向上させるため、定期的に環境目標の実績を評価し、見直しを行い、継続的改善に努める。
5. 環境教育・周知活動を推進し、全社員の環境意識の向上を図るとともに、環境方針を社外に公開する。

2021年1月1日

株式会社 B W M
代表取締役 齋藤 博

4. 環境目的・環境目標

2022 年度～2024 年度 環境目標達成計画表

部門	目標	基準年	各年度目標		実施事項（日程含む）	必要な資源	部門責任者	達成期限	達成確認 評価方法	
		2020年度	2022年度	2023年度						2024年度
大和プラント	プラントからのCO2排出量の削減	総排出量 140,806kg (処理量 7,083 t) 処理量1 t あたりの 排出量 19.88kg	19.7kg／t 以下	19.6kg／t 以下	19.6kg／t 以下	・昼休み・休憩時の消灯、電源OFF ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	水使用量の削減	230㎥/年	228㎥/年以下	227㎥/年以下	227㎥/年以下	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	事業系一般廃棄物の削減	450ごみ袋75袋	ごみ袋73袋以下	ごみ袋72袋以下	ごみ袋72袋以下	・社員の意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底	要員の意識と協力	小野愛	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	リサイクルの推進	チップ出荷量 4,496 t (374 t／月)	7,200 t 以上	7,200 t 以上	7,200 t 以上	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
南方プラント	プラントからのCO2排出量の削減	総排出量 199,497kg (処理量 9,128 t) 処理量1 t あたりの 排出量21.86kg	21.7kg／t 以下	21.6kg／t 以下	21.6kg／t 以下	・昼休み・休憩時の消灯、電源OFF ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	水使用量の削減	54㎥/年	52㎥/年以下	51㎥/年以下	51㎥/年以下	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	事業系一般廃棄物の削減	450ごみ袋60袋	ごみ袋60袋以下	ごみ袋60袋以下	ごみ袋60袋以下	・社員の意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
	リサイクルの推進	チップ出荷量 7,372 t	6,000 t 以上	6,000 t 以上	6,000 t 以上	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識と協力	上野美紀	各年度	環境マネジメントプログラムで評価
運送事業部	収集運搬車両の燃料消費量の削減	燃料消費量 93,314ℓ 運搬量100,595㎥ 運搬量1㎥あたりの 燃料消費量 0.93ℓ/㎥	0.91ℓ／㎥以下	0.90ℓ／㎥以下	0.90ℓ／㎥以下	・運搬計画の十分な検討による走行距離の短縮、渋滞の回避 ・運転者の意識の向上（エコドライブ、アイドリングストップ） ・暖気運転の削減 ・車両整備の徹底 ・近隣現場から回収量アップ（県内現場営業強化）	要員の意識と協力	金澤英明	各年度	環境マネジメントプログラムで評価

5. 環境活動の実績

(1)環境マネジメントプログラムの達成状況

2022年度環境マネジメントプログラム(大和プラント及び運送事業部)

環境目的	2022年度目標	主要施策	実績値	評価※
プラントからの 二酸化炭素排出量 の削減	廃棄物処理量 1tあたりの 二酸化炭素排出量 19.7 kg-CO ₂ /t以下 (2020 年度実績) 廃棄物処理量 1tあたりの CO ₂ 排出量:19.88 kg/t 電力消費量:134,420kwh 軽油消費量:30,870ℓ CO ₂ 排出量:140,806kg 廃棄物処理量:7,083t	・昼休み・休憩時の消灯、電源 OFF ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択 ・受け入れ量アップ(県内現場営業強化)	廃棄物処理量 1tあたりの CO ₂ 排出量:15.20 kg 電力消費量:111,575kwh 軽油消費量:23,946ℓ CO ₂ 排出量:116,327kg 廃棄物処理量:7,652t	A
水使用量の削減	水使用量 228 m ³ /年以下 (2020 年度実績) 230 m ³ /年	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う	水使用量 233m ³ /年	B
事業系一般廃棄物の 削減	45ℓごみ袋 73袋以下 (2020 年度実績) 75 袋/年	・社員の環境意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底	45ℓ ごみ袋 84 袋	C
リサイクルの推進	チップ出荷量 7,200t/年以上 (2020 年度実績) 4,496t/年	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ(県内現場営業強化)	年間チップ出荷量 5,488t (月平均 457.3t)	C
収集運搬車両の燃料 消費量の削減	運搬量 1m ³ あたりの軽油 消費量 0.91ℓ以下に削減 (2020 年度実績) 運搬量 1m ³ あたりの軽油 消費量:0.93ℓ 軽油消費量:93,314ℓ 運搬量:100,595m ³	・運搬計画の十分な検討による走行距離の短縮、渋滞の回避 ・運転者の意識の向上(エコドライブ、アイドリングストップ) ・暖気運転の削減 ・車両整備の徹底 ・近隣現場から回収量アップ(県内現場営業強化)	運搬量 1m ³ あたりの軽油消費 量:0.98ℓ 軽油消費量:106,130ℓ CO ₂ 排出量:273,815kg 運搬量:108,216m ³	B

※A:良好(達成率 100%以上) B:やや不足(90~100%) C:不適合(90%以下)

2022 年度環境マネジメントプログラム(南方プラント)

環境目的	2,022 年度目標	主要施策	実績値	評価※
プラントからの 二酸化炭素排出量 の削減	廃棄物処理量 1tあたりの 二酸化炭素排出量 21.7kg-CO2/t以下 (2020 年度実績) 廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量:21.86 kg/t 電力消費量:164,504kwh 軽油消費量:48,313ℓ CO2 排出量:199,497kg 廃棄物処理量:9,128t	・昼休み・休憩時の消灯、電源 OFF ・受入れ計画・処理計画の十分な検討による作業のムダの削減 ・作業工程の十分な検討、稼働率の向上 ・アイドリングストップの励行、暖気運転の削減 ・施設整備の徹底 ・買い替え時の省エネ機器の選択 ・受け入れ量アップ(県内現場営業強化)	廃棄物処理量 1tあたりの CO2 排出量:23.88 kg 電力消費量:121,584kwh 軽油消費量:34,307ℓ CO2 排出量:148,696kg 廃棄物処理量:6,226t	C
水使用量の削減	水使用量 52 m ³ /年以下 (2020 年度実績) 54 m ³ /年	・作業者の節水意識の向上 ・適切な水量調整、水を出しっぱなしにせずこまめに止めることなどによる節水 ・洗車や清掃時も節水を意識して行う	水使用量 25 m ³ /年	A
事業系一般廃棄物の 削減	45ℓごみ袋 60 袋以下 (2020 年度実績) 60 袋/年	・社員の環境意識の向上 ・紙ごみのリサイクルの徹底	45ℓ ごみ袋 53 袋	A
リサイクルの推進	チップ出荷量 6,000t/年以上 (2020 年度実績) 7,372t/年	・搬出先の確保、新規開拓の継続 ・搬出トラックの確保、搬出先との綿密な打ち合わせ ・機械の点検・整備の日程を決め、確実に実施し機械故障をなくす ・製品の品質の確保、製品在庫の確保 ・受け入れ量アップ(県内現場営業強化)	年間チップ出荷量 5,299t (月平均 441.6t)	C

※A:良好(達成率 100%以上) B:やや不足(90~100%) C:不適合(90%以下)

(2) 環境活動の評価と課題

1) 大和プラント

① 廃棄物処理量 1tあたりの二酸化炭素排出量の削減・・・目標達成

2020 年度実績から削減することを目標に設定した。プラント近隣での大規模宅地造成に伴う伐採工事や福島県飯館村での風力発電所建設に伴う伐採工事があり、受入れ量が昨年に比べ大きく増えたことから、処理量も 19 期の 3,850 トンから 20 期は 7,652 トンへ倍増した。それに伴ってエネルギー消費量も増えたが、処理量が増えたことにより処理量あたりの二酸化炭素排出量の削減目標は達成することができた。

	2020 年度 (基準年度)	2021 年度	2022 年度	基準年度比
木くず・刈草受入れ量	7,335 t	3,678 t	9,412 t	1.28
処理量(搬出量)	7,083 t	3,850 t	7,652 t	1.08
電力消費量	134,420kwh	81,953kwh	111,575kwh	0.83
電力消費に伴う CO2 排出量	61,161 kg	40,567 kg	55,230 kg	0.90
軽油消費量	30,870ℓ	13,044ℓ	23,681ℓ	0.77
軽油消費に伴う CO2 排出量	79,645 kg	33,654 kg	61,097 kg	0.77
CO2 排出量合計	140,806 kg	74,220 kg	116,327 kg	0.83
処理量あたりの CO2 排出量	19.88 kg/t	19.28 kg/t	15.20 kg/t	0.76
目標値	—	19.8 kg/t 以下	19.7 kg/t 以下	
達成／未達成		達成	達成	

② 水使用量の削減・・・目標未達成

大和プラントでの年間の水使用量は 233 m³で 228 m³以下とする目標をわずかに超えたため未達成となった。洗車回数が多かったことが大きな要因。

③ 事業系一般廃棄物の削減・・・目標未達成

45ℓ ゴミ袋 84 袋で、前期より 10 枚減増え、目標を未達成となった。大和プラントでは紙ごみの分別を徹底しているが、期末に本社やプラント事務所内の不要物をまとめて処分したため、廃棄量が増えた。

④ リサイクルの推進・・・目標未達成

前々期に破砕機の入替えを行い、処理能力が大幅にアップしたことからチップの出荷目標を月 600 トン以上(年間 7,200 トン以上)に設定した。20 期は全体として搬入量が多く、受入れ量は十分にあったが、チップ出荷量は 19 期の 2,523 トンから 20 期は 5,488 トンへ大幅に増えたものの、前半受け入れが少なかったことや 1 月に破砕機の破損事故があり、復旧に約 2.5 カ月かかってしまい、その間チップの生産ができなかったことから目標達成には至らなかった。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	基準年度比
木くず受入れ量	6,958 t	3,378 t	9,081 t	1.30
チップ出荷量	4,496 t	2,523 t	5,488 t	1.22
目標値		7,200 t 以上	7,200 t 以上	

達成／未達成		未達成	未達成	
--------	--	-----	-----	--

⑤ 収集運搬車両の軽油消費量の削減・・・目標未達成

1 月以降、福島県飯館村の現場からの搬入が増え、大和プラントの破砕機の破損事故により南方プラントへ持ち込まざるをえなかったため運搬距離が延びたこともあり、運搬量1 m³あたりの軽油消費量 0.91ℓ以下とする目標を達成することができなかった。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	基準年度比
運搬量	100, 595 m ³	75, 464 m ³	108, 216 m ³	1. 07
軽油消費量	93, 314ℓ	90, 767ℓ	106, 130ℓ	1. 14
軽油消費に伴う CO2 排出量	240, 750 kg	234, 179 kg	273, 815 kg	1. 14
運搬量あたりの燃料消費量	0. 93 ℓ/m ³	1. 20ℓ/m ³	0. 98ℓ/m ³	1. 05
目標値		0.92ℓ/m ³ 以下	0.91ℓ/m ³ 以下	
達成／未達成		未達成	未達成	

2) 南方プラント

① 廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量の削減・・・目標未達成

受入れ量は前年の約 2.7 倍で十分な受け入れ量があったが、4～6 月非常に少なかったことや一次破砕機ハースのエンジン不調や人員が安定しなかったことなどから処理が十分に進まず、小割やかき上げの作業が増えたことから、処理量1tあたりの二酸化炭素排出量は、削減目標を達成できなかった。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	基準年度比
木くず・刈草受入れ量	8, 101 t	3, 540t	9, 597t	1.18
処理量(搬出量)	9, 128 t	3,554t	6,226t	0.68
電力消費量	164, 504kwh	97,624kwh	121,584kwh	0.74
電力消費に伴う CO2 排出量	74, 849 kg	48,324kg	60,184kg	0.80
軽油消費量	48, 313ℓ	22,970ℓ	34,307ℓ	0.71
軽油消費に伴う CO2 排出量	124, 648 kg	59,263kg	88,518kg	0.71
CO2 排出量合計	199, 497 kg	107,586kg	148,696kg	0.74
処理量あたりの CO2 排出量	21. 86 kg/ t	30.28kg/t	23.88kg/t	1.09
目標値	—	21.8kg/t以下	21.7kg/t以下	
達成／未達成		未達成	未達成	

② 水使用量の削減・・・目標達成

年間の水使用量は 25 m³で目標の 52 m³以下を達成した。

③ 事業系一般廃棄物の削減・・・目標達成

20期は 45ℓ ゴミ袋 53 袋で、目標の 60 袋以下を達成した。

④ リサイクルの推進・・・目標未達成

十分な受け入れ量があったが、4～6 月非常に少なかったことや一次破砕機ハースのエンジン不調や人員が安定しなかったことなどから処理が十分に進まなかったため、目標未達成となった。12 月以降は持ち直し、安定した出荷ができるようになったが、目標達成には至らなかった。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	基準年度比
木くず受入れ量	7,218 t	3,172 t	8,894 t	1.23
チップ出荷量	7,372 t	3,049 t	5,299 t	0.72
目標値	—	7,350 t 以上	6,000 t 以上	
達成／未達成		未達成	未達成	

6. 内部監査及び外部監査の結果

(1) 内部監査の結果

内部監査は 2023 年 2 月 16 日に大和プラント、南方プラントで実施した。

環境マネジメントシステムは適切に運用されていることが確認された。

チップ出荷量が両プラントで目標未達成、収集運搬車両の運搬量あたりの燃料消費量の削減が目標未達成となっており、問題事項として指摘があった。

(2) 外部監査の結果

2022 年 7 月 28 日に行われた優良産廃規格定期サーベイランスにおいて、不適合、改善要求事項、観察事項は特になかった。

7. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認している。

法規制の大きな逸脱は見られなかった。

遵守状況は付属資料『法律その他の規制要求事項一覧表』のとおり

8. 最高責任者による評価と見直しの結果

2023 年 5 月 15 日にマネジメントレビューを実施した。

(1) 全体評価

環境マネジメントシステムは適切に運用されている。

適用規格が昨年 4 月からみちのく EMS 規格(第 3 版)、みちのく EMS(第 3 版)エコアクション 21 産業廃棄物処理業者の相互認証附属書に変更されたので、これに対応した活動を行うよう指示があった。

(2) 環境方針等の変更の必要性

環境目標について、伐採工事とこれに伴う産業廃棄物の排出量の減少など市況が変化していることから、目標の見直しを検討するよう指示があった。

9. コミュニケーション

第 20 期に実施した環境コミュニケーション活動

- ・仙台北部中核工業団地大栄会による工業団地内道路の清掃活動への参加(毎月 1 回)
- ・令和 4 年 10 月 20 日 宮城県産業資源循環協会主催のクリーン作戦への参加
- ・「いずみワクワク食堂」に支援企業として協力

- ・宮城県河川課主催の貞山運河等への桜植樹ボランティアへの参加
- ・使用済み切手を集めてみやぎ北ユネスコ協会へ寄付
- ・企業版ふるさと納税として丸森町へ 100 万円を寄付
- ・南方プラントへ AED(自動体外除細動器)を設置していることを地域の皆様へ周知

10. 次年度の取り組み内容

第 21 期はみちのく EMS 規格(第 3 版)、みちのく EMS(第 3 版)エコアクション 21 産業廃棄物処理業者の相互認証附属書に対応した活動を行う。引き続き次の項目に取り組む。

- ① 廃棄物処理量 1tあたりの二酸化炭素排出量の削減
- ② 運搬車両の燃料消費量の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ 事業ごみ排出量の削減
- ⑤ チップ出荷量の維持向上

11. その他

(1) 第 20 期の自社排出産業廃棄物の種類及び排出量

排出事業場	産業廃棄物の種類	排出量
大和プラント	管理型混合(廃プラ、金属くず等)	220 kg
南方プラント	混合	2.0 m ³
	廃プラスチック類	排出なし

(2) 違反及び訴訟等の有無

特になし

法律その他の規制一覧表

管理責任者	環境管理事務局
	

確認年月日	2023年4月13日	確認者氏名	安田 匡志
-------	------------	-------	-------

環境関連法規制等の改正・制定・廃止等について確認（法令の改正は施行令、規則等についても確認）すること。
但し当社事業に無関係な条文の改正については改正等無として取り扱って構わない。

法令その他の規制の名称			改正等		要求事項見直し		備考
			有	無	要	不要	
環境 関連 法規 制	(1)環境に関する 国内法令	環境基本法	☐	☒	☐	☒	
		騒音規制法	☐	☒	☐	☒	
		振動規制法	☐	☒	☐	☒	
		大気汚染防止法	☐	☒	☐	☒	
		悪臭防止法	☐	☒	☐	☒	
		水質汚濁防止法	☐	☒	☐	☒	
		廃棄物処理法	☐	☒	☐	☒	
		廃棄物処理法施行令	☐	☒	☐	☒	
		廃棄物処理法施行規則	☐	☒	☐	☒	
		環境省通達等	☐	☒	☐	☒	
		土壌汚染対策法	☐	☒	☐	☒	
		特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する 法律（オフロード法）	☐	☒	☐	☒	
		地球温暖化対策推進法	☐	☒	☐	☒	
		省エネルギー法（エネルギーの使用の合理 化等に関する法律）	☐	☒	☐	☒	
		特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する 法律（オフロード法）	☐	☒	☐	☒	
環境 関連 法規 制	(1)環境に関する 国内法令	家電リサイクル法	☐	☒	☐	☒	
		小型家電リサイクル法	☐	☒	☐	☒	
		建設リサイクル法	☐	☒	☐	☒	
		容器包装リサイクル法	☐	☒	☐	☒	
		グリーン購入法	☐	☒	☐	☒	
		プラスチック資源循環法	☐	☒	☐	☒	
		フロン排出抑制法	☐	☒	☐	☒	
		PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及 び管理の改善の促進に関する法律）	☐	☒	☐	☒	
		消防法	☐	☒	☐	☒	

環境 関連 法規制	(1) 環境に関する 国内法令	労働安全衛生法	☐	☒	☐	☒	
		計量法	☐	☒	☐	☒	
		クレーン等安全規則	☐	☒	☐	☒	
		道路運送車両法	☐	☒	☐	☒	
		道路交通法	☐	☒	☐	☒	アルコールチェックの義務化（2022. 4. 1～） アルコール検知器による確認の義務化（2022. 10. 1～）
		特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）	☐	☒	☐	☒	
		グリーン購入法	☐	☒	☐	☒	
環境 関連 法規制	(2) 環境に関する 自治体の条例	宮城県公害防止条例	☐	☒	☐	☒	
		宮城県廃棄物の処理の適正化に関する条例	☐	☒	☐	☒	
		廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行条例	☐	☒	☐	☒	
		宮城県グリーン購入促進条例	☐	☒	☐	☒	
		黒川地域行政事務組合火災予防条例	☐	☒	☐	☒	
		大和町下水道条例	☐	☒	☐	☒	
		登米市火災予防条例	☐	☒	☐	☒	
その 他の 要求 事項	(3) 環境に関する 自治体の指導、 指針等	宮城県産業廃棄物処理施設の設置及び維持管理に関する指導要綱	☐	☒	☐	☒	
		発電利用に供する木質バイオマス証明のためのガイドライン	☐	☒	☐	☒	
	(4) 自治体、関 係地域住民との 協定等	大和町及び大和町みやぎエコファクトリー運営評議会との環境保全等に関する協定	☐	☒	☐	☒	
		仙台北部中核工業団地の環境保全協定	☐	☒	☐	☒	
		労働基準法	☒	☐	☒	☐	時間外労働の上限 規制（2020. 4～）
			☐	☐	☐	☐	
			☐	☐	☐	☐	
			☐	☐	☐	☐	
			☐	☐	☐	☐	
			☐	☐	☐	☐	

（最終改定：令和4年4月1日「地球温暖化対策推進法」「省エネルギー法」「プラスチック資源循環法」を追加）